



東地中海地域ニュース

イスラエル・エジプト：アラブ連盟代表のイスラエル訪問

(7月25 - 26日付エジプト・イスラエル現地各紙)

A. エジプト側報道：

- 7月25日、4月18日のアラブ和平イニシアティブ閣僚級委員会会合の声明に従って、「アラブ和平イニシアティブ」をイスラエル側に提示する為、アブルゲイト外相とハティーブ・ヨルダン外相がイスラエルを訪問した。
- 両外相は、イスラエル訪問中に、ペレス大統領、オルメルト首相、リブニ外相、バラク労働党党首兼国防相、野党のネタニヤフ党首、イツィック・クネセト議長及びクネセト外交・安全保障委員会メンバーらと会談を行った。
- リブニ外相との会談後の三者共同記者会見でのアブルゲイト外相の発言：
 - アラブ連盟の決議に基づき、ヨルダン外相と共にこの重要任務を遂行することを光栄に思う。「アラブ和平イニシアティブ」は、イスラエル周辺国のみでなく、全アラブ22カ国の和平に対する真剣な呼び掛けである。又、同イニシアティブは、アラブ諸国を含むOIC（イスラム諸国機構）56カ国の支持も得ている。
 - イスラエル側との会談は積極的なもので、自分は、「アラブ和平イニシアティブ」に関し、イスラエル側から多くの積極的発言を耳にした。イスラエル側は、パレスチナ人に彼らの国を樹立する機会を与えることを目的とした真剣な意思がある。
 - 今回の訪問結果は、30日に開催予定のアラブ連盟閣僚級会合で報告する予定で、現在のプロセスを継続することが重要である。この交渉は、パレスチナ人を代表したものではないが、交渉目的は、望まれている和平実現を支援することである。
 - パレスチナ人が和平を選択することで、より積極的な成果を得たと感じるようなイスラエル側との真剣な和平交渉開始が必要で、これにより、穏健な勢力は、和平を支持し、積極的成果をもたらさない他の選択肢は排除されることになる。

B. イスラエル側報道：

オルメルト首相とアラブ側両外相との会談

- 25日、オルメルト首相は、「アラブ和平イニシアティブ」に関する協議の為に訪問したエジプト・ヨルダン両外相と会談した。会談は、良好な雰囲気の中で行われ、両外相は、中東和平はイスラエル・パレスチナ間の直接交渉を通じて実現されとの考えを明らかにした。又、オルメルト首相は、他のアラブ諸国、特にサウジアラビアによる和平プロセスへの参加の重要性を強調し、次回訪問時には、他のアラブ諸国からの代表の同席も期待する旨を述べた。
- オルメルト首相は、外交プロセスを前進させる為、イスラエル及びパレスチナが近く実施しようとしているステップについて論じた。両外相は、近く、アラブ連盟に本協議結果を報告すると共に、引き続き中東和平プロセスを支援していくことになる。